

2024年（令和6年）3月5日

保護者のみなさま

藤沢市立大清水中学校  
校長 平出 恵利子

## 2023年(令和5年)度学校評価の結果について

昨年末に実施しました学校評価について集計が整い、学校運営協議会での報告が終了しましたのでお知らせいたします。ご協力をいただきありがとうございました。

本校では、学校の様々な教育活動について、学校側の評価だけでなく、保護者や地域の方々からのご意見をいただくことを基本姿勢としております。今回の結果やご意見につきましては、今後各種会議の資料とするとともに、今後の学校運営に生かしていきます。

### 1. 評価結果について

1「よくあてはまる」と2「だいたいあてはまる」の割合の合計について、前年比「5%以上上昇の場合は増加、5%以上下降の場合は減少、5%以内は変化なし」とします。

**生徒の集計結果より資料1-1** 回収率 84.6% <1年：85% 2年：92% 3年：77%>

質問 23 項目のうち前年比増が1項目、減少が2項目、変化なしが20項目という結果でした。

**保護者の集計結果より資料1-2** 回収率 52.4%

質問 25 項目のうち前年度比増加が2項目、変化なしが11項目、減少が2項目という結果でした。

#### I 「学校教育目標や方針」

○No.1～2 は、学校教育目標や教育理念を理解し、学校に登校できているか、という設問ですが、前向きな気持ちで登校できている生徒やそのご家庭が7割となる結果となりました。多感で、自我を形成する難しい時期でもあるなか、誰もが安心して学べる学校づくりにより一層努めてまいります。

#### II 「教職員の姿」 III 「教科指導」

○No.3～6 は、教職員の姿、教科指導の部分となっています。わかりやすい教科学習、生徒に寄り添った指導・支援を心がけておりますが、そのように感じている生徒の割合は7割程度です。昨年度よりは微増という結果ではありますが、今後、子どもたちにより伝わるように、授業のあり方を考えてまいります。また、生徒支援については、教職員で情報共有し、生徒に寄り添った指導・支援を行ってまいります。

#### IV 「道徳・特活・総合的な学習の時間」

○No.9 「いのちの大切さ・人の生き方・豊かな心のあり方」についての指導となっています。肯定的な回答が生徒・職員の調査では8割を超えている一方、保護者の方からは昨年同様5割に満たない数値となっており、課題を感じております。どんな場面でも豊かな心を育むことができるよう、職員一同努めております。生徒の考えや意見を保護者の方にも発信できるような機会をもち、「ともに学び ともに育つ」学校であるよう、努めてまいります。

## V 「進路指導」

○No. 11 は進路や職業学習についてです。進路通信を全学年に配布し、どのような流れで卒業後の進路決定をしていくのかを伝えてきました。職業学習については、2年生を中心に、キャリア教育を行っていますが、進路学習を含め「もっと知りたい」という思いからの意見と思われまます。今後、地域やご家庭と協力しながら今までの企画を見直し、より充実した指導ができるよう努めます。

## VI 「行事・課外活動」

- No. 13, 14 は行事や生徒会活動についての項目です。生徒の肯定的な回答は9割近く、どの行事にも前向きに取り組んでいることができている傾向です。また、今年度の体育祭・清流祭は全ての保護者の方（清流祭ステージ発表は出演生徒の保護者のみ）に、参観いただくことができました。実際にご覧いただいたことで、お子様の成長を感じられたことと思います。生徒会活動については、日頃の活動をお知らせする場を考えていきたいと思ひます。
- 行事については、コロナ禍でできるだけ接触をしない形を考えてきましたが、伝統的な部分を残してほしいというご意見の一方、変えていってほしいというご意見があります。生徒の声を聞きながら、子どもたちの成長を願って検討してまいります。
- No.15 は部活動についての項目です。今後、中学校の部活動については、大きな過渡期となります。学校の設置者である藤沢市も部活動のあり方について、検討しているところです。いただいたご意見を参考に、地域の方々と協力しながら、子どもたちのために学校ができることを行ってまいります。

## VII 「生徒指導」

○No. 16, 17, 20 は生徒指導に関する質問です。多くの生徒が生活している上で、摩擦は起こります。それをどのように解決し乗り越えていくか、双方の話を聞き、対話ができるよう指導しています。時間がかかることもありますが、丁寧に対応できるよう、努めてまいりました。事故・事件が起きたときにすぐに対応している、という部分は昨年度より10%近く上昇しています。生徒の悩みや課題は個々に異なりますが、困ったときには話を聞き、一緒に解決に向かうよう努めています。今後も生徒指導・支援では、生徒の成長を目指し、生徒に寄り添った指導を行ってまいります。

## VIII 「その他」

- No. 22 は、学校施設に関する質問です。本校も創立40年となり、創立当初からの校舎を現在も使用しています。教職員で修理できるものは随時しておりますが、教職員には難しい修理や破損、劣化等も出てきています。今後も教育委員会とも連携して、安全安心な教育環境となるようにしてまいります。
- 体育館やプールのトイレなど、設備についてはすでに藤沢市教育委員会に依頼をしていますが、予算編成上、なかなか難しいところです。今後も、市に現状を理解していただき、できるだけ早期に改善されるよう、働きかけていきます。

### 2. ①生徒の主な自由記述【良い点】

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ○トイレがいつもきれい         | ○生徒中心に行事に取り組んでいる    |
| ○あいさつをする(多数)        | ○自由と責任という創立以来の教育理念  |
| ○行事が楽しい             | ○先輩後輩問わず仲が良い        |
| ○生徒数が少ない            | ○全生徒が協力し何かをやり遂げる    |
| ○先輩たちや学年が優しくて雰囲気が良い | ○学年同士の先生たちの仲が(多分)良い |
| ○みんな仲が良い(多数)        | ○防災訓練をしている          |
| ○いじめが少ない            | ○生徒会が中心となって動いている    |
| ○先生方が相談に乗ってくれる      | ○困っていたら助けてくれる       |

- 服装が自由（多数）
- 先生たちが明るい
- 毎日楽しい
- トラブルなどに対する対応が丁寧
- クラスや学年をまとめるのが上手い先生が多い
- 自由と責任が保たれている
- プロジェクトなどの機材が割と新しい
- 制服がないなど、生徒にある程度の自由が与えられている（多数）
- 部活が楽しい
- たくさん行事やイベントがある
- 体育祭など学年を超えて協力し盛り上がる
- 近くに高校や小学校があり、他の学校より交流機会が多い
- 先生にわからないことを質問しても嫌な顔をせずに教えてくれる

## ②生徒の主な自由記述【課題・提案】

- 季節をもっと感じられるようにする
- 体育館のトイレが和式しかないので洋式を。
- 朝会などの時に座る体制を体育座り以外のものにしてもらいたい。
- 交流を増やす
- 喧嘩が減れば良いと思う。
- もっとイベントを増やす
- 掃除の分担を決めた方が良い。
- カーテンをまぶしくないものにしてほしい。
- 授業中のおしゃべりをおさえたらいい
- 担任が生徒一人ひとりをよく見る。
- 一人ひとりがルールを守って行動する。やられて嫌なことを他の人にしない。
- 先生の見えないところで嫌がらせを受けている人がいないか、相談できないのではないかなど、調査してほしい
- 体育館を大きく
- ネクタイ・リボンを復活
- 一部の先生の意味のわからない発言がなくなる
- メリハリをつける
- ある教科で生徒が困っています。テストが難しすぎたり、話が脱線して進まなかったり。
- クラスを増やして一クラス当たりの生徒数を減らす

## 3. ①保護者の主な自由記述【評価できる点】

<保護者>

- いつもありがとうございます。先生方の負担があまり多くなりませんように。
- 合唱コンクールは生徒主体で練習し、クラスの絆を深める良い機会だと思いました。
- 生徒も先生も優しい雰囲気です。○希望する親が参加して、生徒と交流のできる親睦会があること
- 担任の熱意 ○学校の中だけでなく保護者や、地域の力を借りようとしてくれる姿勢
- 小規模校ならではの、先生と生徒との温かな関わりがあり、人を育てるのにふさわしい環境。
- 公平で正しい指導。物静かでも、真面目に取り組んでいる点が評価されていること。
- 授業参観で子供と一緒に授業に参加出来たこと。見るだけではなくて参加をしてみて分かる事もある。
- クラスの担任の先生については子供がとてもよい先生でよかったと常に言っています。他の先生方も、生徒によく声かけをして下さるようでコミュニケーションが良くとれているのかなと思います。
- 清流祭や合唱コンクールなど、生徒が主体的に取り組んでいるのを、温かく応援して頂けていること。
- 顧問の先生の熱心で生徒に寄り添う指導。子どもが日々部活動での出来事を楽しそうに話してくれます。部員のみんが先生を信頼していて、大好きなんだなあというのか伝わってきます。多感な時期の子どもたちですが、担任の先生とはまた違った角度で指導、見守りをして頂ける事に感謝。
- いじめ等の声も聞かず、上級生との関係も良い様子なので、おらかな良い校風と思う。
- 学年にこだわらず管理職、教員皆さんでわが子を見てくださり、とても温かい雰囲気がある点。
- 部活動について、やりがいを感じているようなので先生方の指導のおかげだと感じております
- 小学校や高等学校との交流 ○担任の先生が毎週クラスでの出来事を書いて教えてくれる

## ②保護者の主な自由記述【改善提案】

- 間違っただけを注意しているのはよく感じています。しかし、認め、褒めることがもう少し増えると子どももっとやる気が出るのではないかと思います。
- より多くの人や価値観に子どもたちが出会い、多様性を認められるような人になってほしい。
- 宿題や提出物を出しているのに、成績が低い。先生が子供の授業態度を見ているのか気になる。
- 体育祭の種目に疑問を感じる。また、文化祭は文化部だけでなく、全クラスが参加できるものに。
- 不登校の生徒がオンライン授業を受けたら出席扱いにしてほしい。
- 保護者のモラル。面談や行事に自家用車で来校する保護者がいる。また、授業参観時のおしゃべりや合唱コンクールの参観態度など。
- 制服の着用機会が少ない。高価なものなのに。「提示服」とはいうものの、他の子どもと違うものを着せるのは勇気がいる。
- 参観した授業がプリントに回答するだけのものでした。
- 生徒たちの活気がほしい。
- 課題提出指示がテスト直前になる。学習予定が立てにくい。2週間以上前に課題が出されるよう望む。
- 授業進度に差が出ている教科がある。先生同士連携してほしい。
- 大清水体操は裸足で行うが、その必要はないのでは。
- 遅刻、欠席者名が黒板に貼られている。遅刻した生徒を把握する他の方法はないのか。
- グループワークを有効に活用してほしい。
- 教師の発言は大きい影響を及ぼすもの。発言には注意をしていただきたい。
- 「お金」と「性」の勉強はもっと具体的に踏み込んだ内容で学ぶ時間を取ってほしい。
- 学力レベルを上げるための対策を。校風としてのんびりしているのはいいが、しすぎも問題。

## 4. 保護者の方からの自由記述について

様々なご意見をいただき、ありがとうございます。中でも【改善提案】にいただいた事柄に関しては、校内で共有し、学校全体で検討してまいります。

### 【まとめ】

新型コロナウイルス感染症に関する国の方針が変更されたことに伴い、学校生活における教育活動は、制限なく行うことができるようになってきました。しかしながら、感染症対策は生徒の安心・安全のため、今後も引き続き取り組んでまいります。そして、これからも生徒が充実した中学校生活が遅れるように柔軟に対応してまいります。

また、現行の学習指導要領が実施されて、丸3年が経とうとしています。学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICTの効果的な活用、生徒同士の学び合い、学習内容の基礎・基本の定着など、生徒の確かな学力の育成を目指して教育活動を行ってまいりました。今後も引き続き取り組んでまいります。

生徒指導支援体制については、生徒に寄り添った指導支援を全職員で取り組んでまいります。また、別室での学習支援やオンライン授業などの環境を整備し、個々に合わせた学習支援体制の充実に向けて取り組んでまいります。なお、オンライン授業での出席の扱いについては、ご家庭と確認し連携が必要となります。まずは学校までご相談下さい。

学校評価における自由記述では、温かい励ましの言葉をありがとうございました。日々職員が努めていることを認めていただき、感謝申し上げます。

一方、ご指摘を受けた点やご要望のひとつひとつを真摯に受け止めております。これからも、教員の資質向上に努め、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、教育活動を行ってまいります。保護者の方々と一緒に、子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。

今回の結果を踏まえて、今後も生徒が充実した学校生活を送れ、保護者・地域の皆様から信頼される学校を目指して、授業をはじめ様々な取組の改善を行い、より良い学校づくりに努めてまいります。

## 5. 学校関係者評価委員会の主な意見

### (1) 教育活動及び学校運営等の取組状況や目標達成についての質問・意見

- ・学校目標や理念が子どもたちに浸透しており、それを尊重している姿が学校評価から読み取れる。この伝統を続けていってほしい。
- ・目標に対しては全体的にとてもうまくいっているように思う。ただし、さまざまな対応を求めているもの（教科の評価、個人の不安な部分など）に関しては、担任の先生だけでなく相談できる機会があると良いのではと思われる。※1

### (2) 次年度に向けた教育活動及び学校運営等の改善に関する意見

- ・生徒の数値と保護者の数値の間に乖離がある。子どもたちが家庭で学校のことを話していないこともあると思うが、学校からの発信方法を考え、増やしていくと良いと思う。
- ・ICTの利活用については、藤沢清流高校と教員間の連携ができる。ぜひ活用して下さい。
- ・いじめについては、質問の文言を当事者意識が湧くような文言にしてみてもは。「いじめを見たことがあるか」「そのときどうしたか」「先生たちはどのように対応したか」など、何を聞きたいのか、具体的にイメージできる質問にしてみてもはどうでしょうか。※2
- ・いじめについては、「わからない」という答えが見られるが、「困ったことがないのでわからない」と捉えられる。我が家では、思春期のせいかな、なかなか話をしてくれないし、学校からのお知らせも届かない。「あてはまらない」という回答が多いところに安心感をもっている。
- ・小学校から中学校になると、人間関係が広がり、そのうえでは衝突も見られるが、そのときに子どもなりに解決しようとしているのがわかる。
- ・授業見学で、教室の掲示物から先生たちが心がけていることがわかり。「間違っことを笑わない」など、大切なことを押さえたうえで「自由と責任」があるところに好感を持った。
- ・制服（提示服）の利用機会を考えると、十分に活用できているのか疑問。保護者の負担を考え、教材も含め抜本的に改革しても良いと思う。
- ・来年度の学校の目標の重点を絞って、それに即したことを行い、それをアンケートに取ってみると良い。焦点化されることで、学校が変わってくる。
- ・様々な行事でQRコードなどを用いてアンケートをとってみてもは。即時性のアンケートがあると、そのとき感じたことを届けられる。保護者の「この程度なら（気になるけれど）まあ伝えなくてもいいかな」という思いも拾え、改善につながるのではと思われる。

※1 前期は教育相談の機会を設けているが、後期は設けていないため、年間計画を見直していきます。

※2 年2回、生活アンケートを全生徒に実施しています。いじめ等についても気になっていることや気づいたことを具体的に書ける形になっています。

## 6. 次年度の重点課題

### (1) 生徒が主体となる学校づくり

学校教育理念のもと、生徒一人ひとりが主体的に考え、行動し、輝ける学校を目指します。学級、授業、課外活動で自分の考えをもち相手を尊重できる生徒を育成します。

### (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業力の向上

I C T機器、生徒同士が学び合う機会、教科を超えた学習等を活用し、深い学びとなるような授業改善を継続的・組織的に行い、教員の指導力の向上を図ります。

### (3) 生徒指導支援体制の充実

全職員が生徒に寄り添い、それぞれの個性を活かし、家庭と協力して指導、支援します。また、S Cや他機関との積極的な連携を図ります。

### (4) 信頼される学校づくり

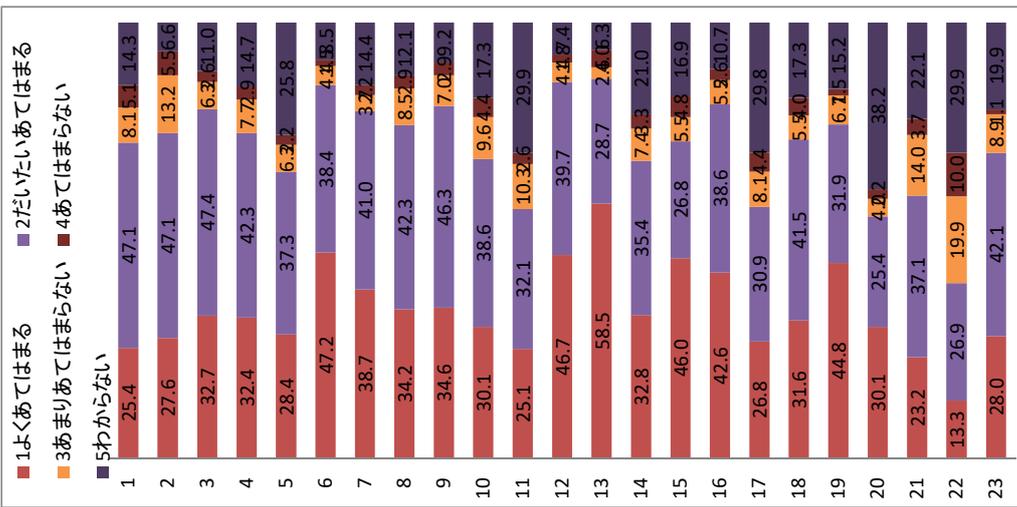
保護者をはじめ、地域の方々から信頼される学校となるよう、職員一同研鑽に励みます。また、H Pや地域での会議などによる情報発信を積極的に行い、地域に根ざした開かれた学校を推進します。

今回の結果は、今後も分掌会議や職員会議等で検討し、より良い学校づくりに活かして参ります。

2023年(令和5年)度 項目別回答における 回答の割合 ・ 昨年度の割合 <生徒>

2023年(令和5年)度

【生徒】	集計	評価項目	【生徒】%					1+2	昨年度
			10%	20%	30%	40%	50%		
1	学校は、学校の教育目標「感謝・努力・創造力」や理念「自由と責任」をわかりやすく伝えている。		25.4	47.1	8.1	5.1	14.3	72.4	73.3
2	学校へ行くのが楽しい。		27.6	47.1	13.2	5.5	6.6	74.6	75.6
3	先生たちは、生徒の質問や意見を聞いてくれる。		32.7	47.4	6.3	2.6	11.0	80.1	77.5
4	先生たちは、自分が努力したことを認めてくれる。		32.4	42.3	7.7	2.9	14.7	74.6	71.7
5	先生たちは、悩みや相談に応じてくれる。		28.4	37.3	6.3	2.2	25.8	65.7	65.4
6	先生たちは、一生懸命教えてくれる。		47.2	38.4	4.4	1.5	8.5	85.6	84.5
7	先生たちは、教え方いろいろな工夫をしている。		38.7	41.0	3.7	2.2	14.4	79.7	82.4
8	授業では、発言や活動の機会が多くもたれている。		34.2	42.3	8.5	2.9	12.1	76.5	78.5
9	道徳など、命の大切さ・人の生き方・豊かな心のあり方について考える機会が多くある。		34.6	46.3	7.0	2.9	9.2	80.9	79.3
10	「総合的な学習の時間」は、自分で課題を見つけ学習できるようにいろいろ工夫されている。		30.1	38.6	9.6	4.4	17.3	68.8	72.0
11	学校は、進路や職業について、適切な指導や情報提供を行っている。		25.1	32.1	10.3	2.6	29.9	57.2	70.6
12	学校では、生徒同士が協力して活動することが多くある。		46.7	39.7	4.4	1.8	7.4	86.4	83.9
13	体育祭・清流祭などの学校行事は楽しく充実している。		58.5	28.7	2.6	4.0	6.3	87.1	83.1
14	生徒会活動(委員会活動を含む)は活発である。		32.8	35.4	7.4	3.3	21.0	68.3	72.5
15	部活動は活発である。		46.0	26.8	5.5	4.8	16.9	72.8	77.4
16	先生たちは、生徒の間違った行動を注意し指導している。		42.6	38.6	5.5	2.6	10.7	81.3	79.3
17	先生たちは、いじめや友達とのトラブル等、生徒が困っていることについてよく対応してくれる。		26.8	30.9	8.1	4.4	29.8	57.7	54.9
18	先生たちは、面談の時に学校での過ごし方や学習についてアドバイスをしてくれる。		31.6	41.5	5.5	4.0	17.3	73.2	78.6
19	学校の様子が、学校・学年・学級日より等で家庭に伝えられている。		44.8	31.9	6.7	1.5	15.2	76.7	77.3
20	学校は、事故・事件等すぐに対応している。		30.1	25.4	4.0	2.2	38.2	55.5	47.9
21	地震・台風・防犯等の対応や情報がよく知らされている。		23.2	37.1	14.0	3.7	22.1	60.3	59.9
22	学校の設備や器具などが壊れたときは、すぐ修理されている。		13.3	26.9	19.9	10.0	29.9	40.2	44.0
23	学校では、多くの保護者や地域の人が、授業や行事を参観してくれる。		28.0	42.1	8.9	1.1	19.9	70.1	70.3



## 2023年(令和5年)度 項目別回答における 回答の割合 ・ 昨年度の割合 &lt;保護者&gt;

2023年(令和5年)度

	【保護者】 集計	評価項目	【保護者】 %					1+2	昨年度
			1の%	2の%	3の%	4の%	5の%		
1	学校は、学校の教育目標「感謝・努力・創造力」や理念「自由と責任」をわかりやすく伝えている。		11.8	62.7	11.2	1.2	13.0	74.5	74.8
2	子どもは学校に行くのを楽しみにしている。		26.1	49.1	17.4	5.6	1.9	75.2	74.7
3	職員は、子どもの質問や意見をよく聞いてくれる。		15.5	54.0	14.3	2.5	13.7	69.6	71.4
4	職員は、子どもが努力したことを認めてくれている。		18.6	54.7	9.3	3.1	14.3	73.3	74.7
5	職員は、子どもの悩みや相談に応じている。		10.0	48.1	13.1	4.4	24.4	58.1	61.6
6	職員は、授業を一生懸命にやっている。		22.4	52.8	5.0	0.6	19.3	75.2	76.9
7	職員は、授業をいろいろ工夫している。		11.9	48.1	7.5	1.9	30.6	60.0	59.9
8	授業では、生徒の発言や活動の機会が多くあると思う。		22.4	52.8	5.0	0.6	31.7	75.2	76.9
9	命の大切さ・人の生き方・豊かな心のあり方について指導し、また、子どもが考える機会を設けている。		7.5	41.6	7.5	3.7	39.8	49.1	49.7
10	「総合的な学習の時間」では、生徒が自ら課題を見つけ主体的に取り組み、課題を解決できるように取り組んでいる。		11.2	48.4	7.5	1.2	31.7	59.6	59.9
11	学校は、進路や職業について適切な指導や情報提供を行っている。		15.0	51.3	10.0	3.8	20.0	66.3	69.4
12	学校は、生徒同士が協力して活動する機会を大切にしている。		21.3	63.8	2.5	0.6	11.9	85.0	86.4
13	学校は、体育祭・清流祭等の学校行事を充実させている。		26.7	58.4	6.2	1.2	7.5	85.1	81.6
14	学校は、生徒会活動(委員会活動を含む)を、活発にしている。		16.3	50.0	6.9	1.3	25.6	66.3	73.5
15	学校は、部活動を活発に行っている。		19.9	57.8	10.6	3.1	8.7	77.6	87.8
16	学校は、子どもの間違っただ行動を指摘し指導している。		13.1	52.5	9.4	2.5	22.5	65.6	63.3
17	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。		10.6	50.9	7.5	3.1	28.0	61.5	64.4
18	学校は、面談の機会に子どもの様子を的確に伝え、助言してくれると思う。		27.3	59.6	5.0	2.5	5.6	87.0	88.4
19	学校や子ども様子を、懇談会や学校・学年・学級によりによって知ることができる。		30.6	56.3	6.9	0.6	5.6	86.9	85.7
20	学校は、事故・事件等に迅速かつ的確な対応をしている。		23.0	44.1	3.7	1.2	28.0	67.1	59.3
21	学校は、地震・台風・防犯等の対応や情報について、生徒や保護者に知らせている。		34.2	57.8	5.6	0.0	2.5	91.9	80.1
22	学校の施設・設備面の修理は適切に行われている。		14.9	50.3	4.3	1.2	29.2	65.2	66.7
23	学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会をよく設けている。		18.1	70.0	4.4	0.6	6.9	88.1	83.7
24	学校は、地域の行事や活動に協力的である。		18.6	53.4	3.7	0.0	24.2	72.0	74.0
25	学校は、大清水の会の活動に協力的である。		18.0	49.7	0.0	0.0	32.3	67.7	70.5

